



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 大同工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6373 URL <http://www.did-daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新家 啓史

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 真田 昌則

TEL 0761-72-1234

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	23,629	1.7	603	43.1	579	41.0	166	61.4
2019年3月期第2四半期	24,028	6.1	1,061	26.7	981	41.3	430	55.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 78百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	15.22	—
2019年3月期第2四半期	42.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	60,734	29,171	38.1	2,123.18
2019年3月期	61,262	29,801	38.9	2,186.01

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 23,169百万円 2019年3月期 23,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,800	0.5	1,250	13.2	1,300	19.4	450	46.7	41.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	10,924,201 株	2019年3月期	10,924,201 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	11,671 株	2019年3月期	11,651 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	10,912,537 株	2019年3月期2Q	10,028,290 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米中の貿易摩擦激化による両国経済の減速や英国のEU離脱問題、世界の自動車生産の低迷等により、世界経済は低成長にとどまり減速基調が続いております。国内においては、外需の不振、消費税増税等の懸念があるものの、堅調な個人消費、企業の設備投資などを背景に緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は23,629百万円（前年同期比1.7%減）となりました。収益面につきましては、売上高の減少に加え、鋼材価格等の高騰、新興国通貨安による輸入品コストの上昇及び為替差損益発生の影響等により、営業利益は603百万円（前年同期比43.1%減）、経常利益は579百万円（前年同期比41.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は166百万円（前年同期比61.4%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①日本

二輪車用アルミリムにおいて、前年同期に完成車メーカーの生産工場移転に伴う生産減少の影響があったことや、コンベヤにおいて、環境搬送関連設備の受注が好調に推移するとともに、セメント・電力関連向けの産業機械用チェーンの受注も好調に推移しました。一方、鉄鋼・電力関連向けの搬送関連設備の受注が低調であったことや、二輪車用チェーン・スポーク等においても、国内完成車メーカーの在庫調整の影響等により受注が低調に推移したことに加え、四輪車用チェーンにおいて、当社製品採用車種のモデルチェンジの影響等により受注が低調に推移したことから、売上高は前年同期比7.5%減少の11,463百万円となりました。

②アジア

タイにおいて空調関連向けの搬送関連設備の受注が好調に推移するとともに、インドネシアにおいても完成車メーカー向けの二輪車用チェーンの受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期比6.1%増加の7,210百万円となりました。

③北米

産業機械用チェーンの受注が内需拡大を背景に堅調に推移するとともに、二輪車用チェーンにおいても販売先の新規開拓等により受注が好調に推移したことから、売上高は前年同期比4.3%増加の2,219百万円となりました。

④南米

二輪車用チェーンにおいて、完成車メーカー向けの売上は好調に推移したものの、リアル安の影響が大きく響き、売上高は前年同期比9.5%減少の1,265百万円となりました。

⑤欧州

補修市場向けにおいて、二輪車用チェーンの受注が西欧向けを中心に好調に推移したことから、売上高は前年同期比12.2%増加の1,470百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ、仕掛品が363百万円、建設仮勘定が395百万円増加したものの、現金及び預金が1,031百万円、投資有価証券が317百万円減少したことなどにより528百万円減少し、60,734百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末と比べ、支払手形及び買掛金が568百万円減少したものの、借入金が1,041百万円増加したことなどにより102百万円増加し、31,563百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、その他有価証券評価差額金が508百万円減少したことなどにより630百万円減少し、29,171百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ573百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には6,571百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は850百万円(前年同期は259百万円の使用)となりました。これは主に、たな卸資産が345百万円増加、仕入債務が681百万円減少したものの、税金等調整前四半期純利益を577百万円、減価償却費を1,275百万円計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,855百万円(前年同期は2,614百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の純減額452百万円、関係会社株式の取得による支出366百万円、有形固定資産の取得による支出1,873百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は451百万円(前年同期は1,031百万円の獲得)となりました。これは主に、借入金の純増額1,069百万円、配当金の支払額382百万円、非支配株主への配当金の支払額170百万円等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月31日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,655	6,624
受取手形及び売掛金	10,191	9,917
商品及び製品	4,555	4,483
仕掛品	2,840	3,203
原材料及び貯蔵品	2,875	2,872
その他	1,448	1,587
貸倒引当金	△45	△67
流動資産合計	29,520	28,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,665	5,524
機械装置及び運搬具（純額）	7,480	7,764
土地	2,829	2,839
リース資産（純額）	313	374
建設仮勘定	981	1,376
その他（純額）	809	819
有形固定資産合計	18,079	18,699
無形固定資産		
ソフトウェア	106	128
その他	15	55
無形固定資産合計	121	183
投資その他の資産		
投資有価証券	12,688	12,370
繰延税金資産	227	240
その他	616	615
貸倒引当金	△0	△1
投資その他の資産合計	13,532	13,225
固定資産合計	31,732	32,107
繰延資産		
社債発行費	9	5
繰延資産合計	9	5
資産合計	61,262	60,734

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,249	5,681
短期借入金	6,085	5,695
1年内償還予定の社債	2,000	2,000
リース債務	91	89
未払法人税等	333	280
賞与引当金	524	596
役員賞与引当金	8	—
製品保証引当金	23	14
その他	2,933	2,704
流動負債合計	18,250	17,061
固定負債		
社債	2,500	2,500
長期借入金	6,851	8,284
リース債務	218	260
繰延税金負債	677	398
退職給付に係る負債	2,691	2,803
その他	271	254
固定負債合計	13,210	14,501
負債合計	31,461	31,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,536	3,536
資本剰余金	2,787	2,787
利益剰余金	13,603	13,387
自己株式	△7	△7
株主資本合計	19,920	19,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,823	3,315
為替換算調整勘定	85	129
退職給付に係る調整累計額	25	20
その他の包括利益累計額合計	3,934	3,464
非支配株主持分	5,946	6,001
純資産合計	29,801	29,171
負債純資産合計	61,262	60,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	24,028	23,629
売上原価	19,415	19,356
売上総利益	4,613	4,272
販売費及び一般管理費	3,551	3,669
営業利益	1,061	603
営業外収益		
受取利息	32	29
受取配当金	185	186
持分法による投資利益	115	84
その他	69	34
営業外収益合計	402	335
営業外費用		
支払利息	91	101
為替差損	321	227
その他	68	30
営業外費用合計	482	359
経常利益	981	579
特別利益		
固定資産売却益	76	4
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	76	5
特別損失		
固定資産売却損	2	6
固定資産除却損	7	1
特別損失合計	9	7
税金等調整前四半期純利益	1,049	577
法人税、住民税及び事業税	388	339
法人税等調整額	△9	△60
法人税等合計	378	278
四半期純利益	670	298
非支配株主に帰属する四半期純利益	239	132
親会社株主に帰属する四半期純利益	430	166

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	670	298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△177	△514
為替換算調整勘定	△607	145
退職給付に係る調整額	7	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△2
その他の包括利益合計	△771	△377
四半期包括利益	△100	△78
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△208	△303
非支配株主に係る四半期包括利益	107	225

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,049	577
減価償却費	1,204	1,275
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	25	109
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	25	—
受取利息及び受取配当金	△218	△215
持分法による投資損益 (△は益)	△115	△84
支払利息	91	101
為替差損益 (△は益)	93	132
有形固定資産売却損益 (△は益)	△74	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△186	271
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△757	△345
仕入債務の増減額 (△は減少)	△593	△681
その他	△370	△54
小計	174	1,087
利息及び配当金の受取額	236	232
利息の支払額	△90	△103
法人税等の支払額	△578	△366
営業活動によるキャッシュ・フロー	△259	850
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,568	△565
定期預金の払戻による収入	1,111	1,018
関係会社株式の取得による支出	—	△366
有形固定資産の取得による支出	△2,199	△1,873
有形固定資産の売却による収入	98	11
その他	△55	△79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,614	△1,855
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	255	△69
長期借入れによる収入	663	2,247
長期借入金の返済による支出	△903	△1,108
株式の発行による収入	1,621	—
自己株式の処分による収入	10	—
配当金の支払額	△328	△382
非支配株主への配当金の支払額	△222	△170
その他	△65	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,031	451
現金及び現金同等物に係る換算差額	△136	△19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,978	△573
現金及び現金同等物の期首残高	7,972	7,145
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,993	6,571

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,398	6,794	2,127	1,397	1,310	24,028	—	24,028
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,462	268	—	—	—	3,731	△3,731	—
計	15,860	7,063	2,127	1,397	1,310	27,760	△3,731	24,028
セグメント利益	302	502	104	42	108	1,060	0	1,061

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,463	7,210	2,219	1,265	1,470	23,629	—	23,629
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,904	171	—	—	—	4,076	△4,076	—
計	15,368	7,381	2,219	1,265	1,470	27,705	△4,076	23,629
セグメント利益又は損 失(△)	△181	498	118	△58	124	501	102	603

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額102百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。